

諏訪之瀬島の火山活動

—2000年2月～2001年5月—*

Volcanic Activity of Suwanosejima Volcano

—February 2000 - May 2001 —

福岡管区气象台

鹿児島地方气象台

Fukuoka District Meteorological Observatory, JMA

Kagoshima Local Meteorological Observatory, JMA

1. 活動概要

諏訪之瀬島は2000年（平成12年）12月20日に噴火し、29日にも規模の小さい噴火があった。鹿児島県の協力により12月23日と24日に鹿児島地方气象台が実施したヘリ観測によると、火口から火山灰混じりの噴煙を噴出していることを確認した。

また、2001年（平成13年）5月10日から13日にかけて、やや活発な噴火活動があった。11日には島内で多量の降灰（島内の集落で約3cm）を観測し、中之島からの情報では高さ1500mの灰色の噴煙が観測された。鹿児島県の協力により5月12日に鹿児島地方气象台が実施したヘリ観測によると、噴煙高度は約1000m、色は灰白色、火口径は100m～150m（2000年12月は約50m）であった。

第1図に福岡管区气象台が2000年12月23日に設置した地震計による日別地震回数を示し、第2図に震動観測点の位置図を示す。期間中、地震回数は日に0～4回で推移したが、2001年3月15日には日に13回の地震を観測した。また、5月12日12時から14時の間には噴火に伴う爆発地震を4回観測した。第3図に2001年5月12日12時48分に観測した爆発地震の波形を示した。

2001年5月11日21時過ぎから13日にかけて、噴火に伴うと見られる火山性連続微動が観測された。第4図に噴火に伴う火山性連続微動の振幅推移を、第5図に火山性連続微動の波形をそれぞれ示した。

十島村役場によると、期間中、噴煙高度は概ね200～600mと高い状態で推移し、2000年2月21日、12月21～23日、12月29～30日、2001年1月18～19日、2月13日、4月4日、5月11～12日に島内で降灰が観測された。第6図に日別最高噴煙高度を示した。ここでは、集落に降灰があった時と有色噴煙が見られた時に「噴火」として↑で表した。

2. 火山情報の発表経過

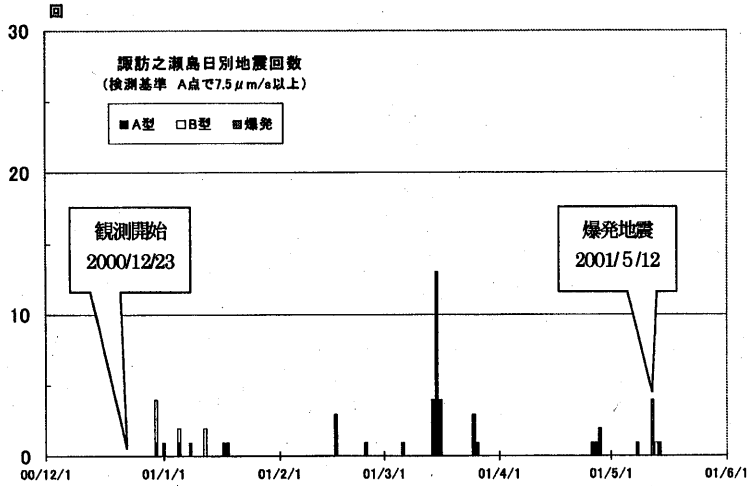
本期間（2000年2月～2001年5月）、鹿児島地方气象台が発表した火山情報は以下のとおりである。

臨時火山情報 第1号 2000年12月20日

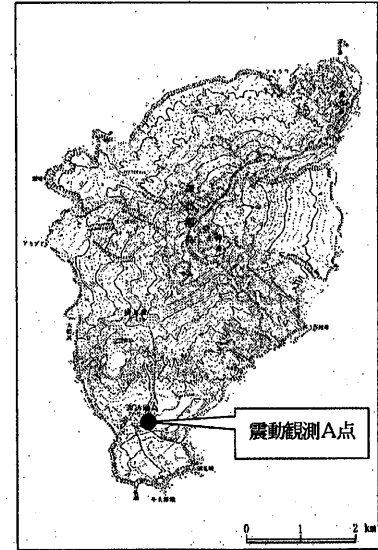
火山観測情報 第1号 2000年12月25日

第1号 2001年2月21日 ～ 第5号 5月12日

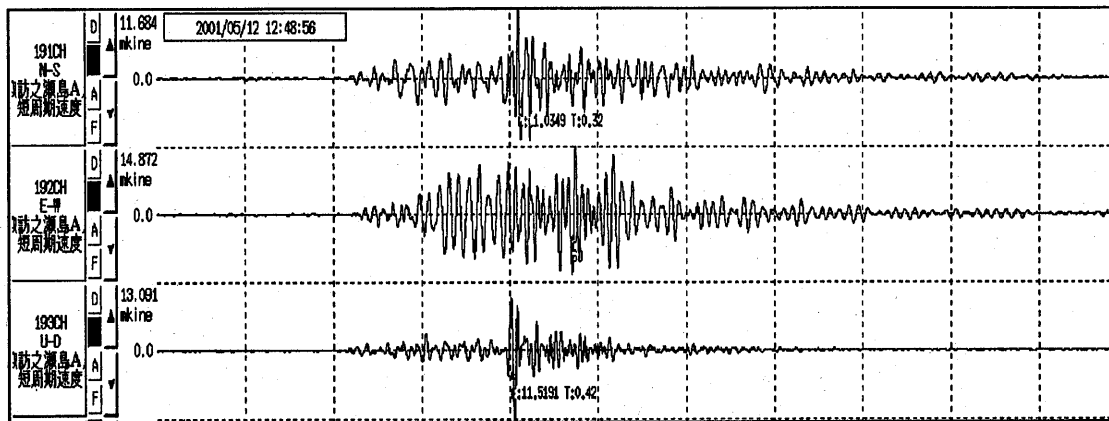
* Received 28 Aug., 2001



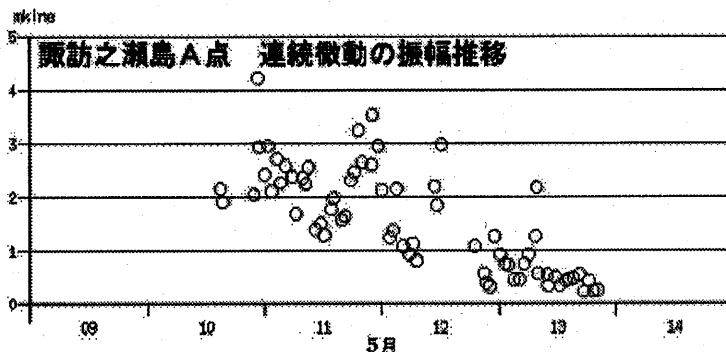
第1図 日別地震回数 (2000年12月23日~2001年5月31日)
 Fig. 1 Daily frequency of volcanic earthquakes.
 (Dec. 23 2000—May 31 2001)



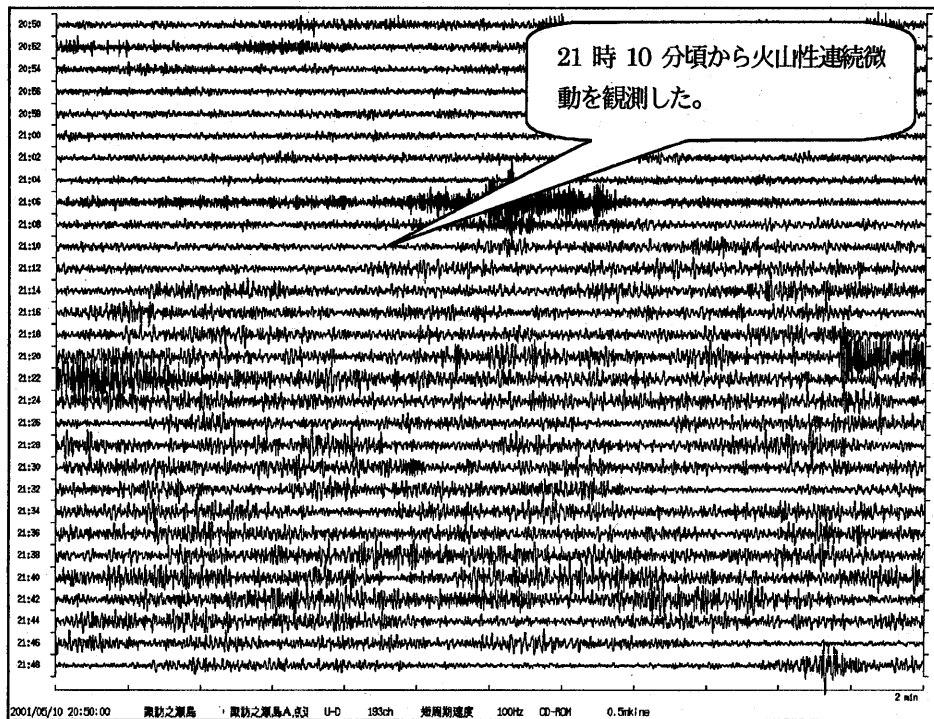
第2図 震動観測点の位置図
 Fig. 2 Distribution of earthquake observation station.



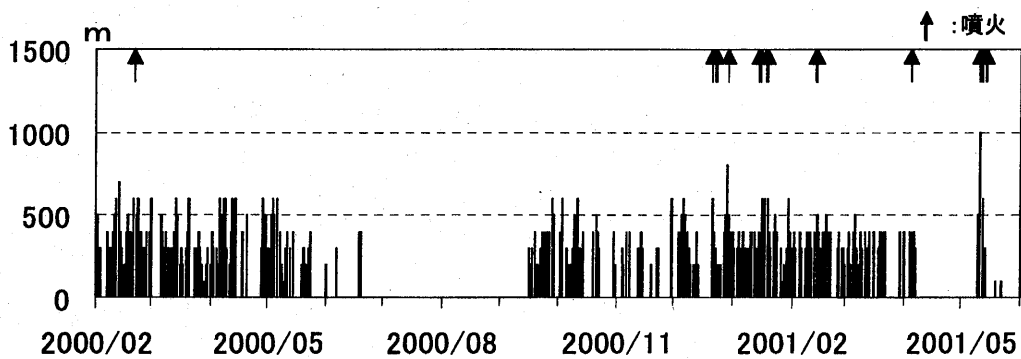
第3図 2001年5月12日に観測した爆発地震の波形
 Fig. 3 An example seismogram of the explosion earthquake.
 (Appearance time was May 12 2001 12:48:58)



第4図 噴火に伴う火山性連続微動の振幅推移 (2001年5月10日~13日)
 Fig. 4 Amplitude transition of volcanic continuous tremor according to eruption.
 (May 10 2001—May 13 2001)



第5図 火山性連続微動の波形 (2001年5月10日21時10分50秒から)
 Fig. 5 An example seismogram of the volcanic continuous tremor.
 (Appearance time was May 10 2001 21:10:50)



第6図 日別最高噴煙高度 (2000年2月1日~2001年5月31日)
 Fig. 6 Daily height of volcanic plume. (Feb. 1 2000-May 31 2001)